

未来創造 meeting@北九州 概要レポート

～北九州市若者政策アイデアワークショップ運営業務～

01 開催概要

日程：ワークショップ全5回 令和2年（2020年）9月24日、10月15日、11月17日、12月15日

令和3年（2021年）1月19日

令和3年（2021年）2月14日

全体発表会

会場：全日程オンライン

参加者数：27名（市内18名、市外4名、県外5名）

▼ ワorkshop募集チラシ



02 全5回のオンラインワークショップでの議論

北九州市を考える4つのテーマ（課題）ごとに、グループでの議論を行いました。参加者企画のオンライン交流会も実施！

▼ 各課の課題（参加者募集時）

北九州を考える4つのテーマ

01 (建築都市局住宅計画課)
「北九州ならではの！」の住まい方発見プロジェクト
若者や子育て世帯にとって最適な環境・住まい方とはどんなもの？北九州市ならではの多様な住まい方について議論し、実現への方法を一緒に考えましょう。
コーディネーター 丸川 正香

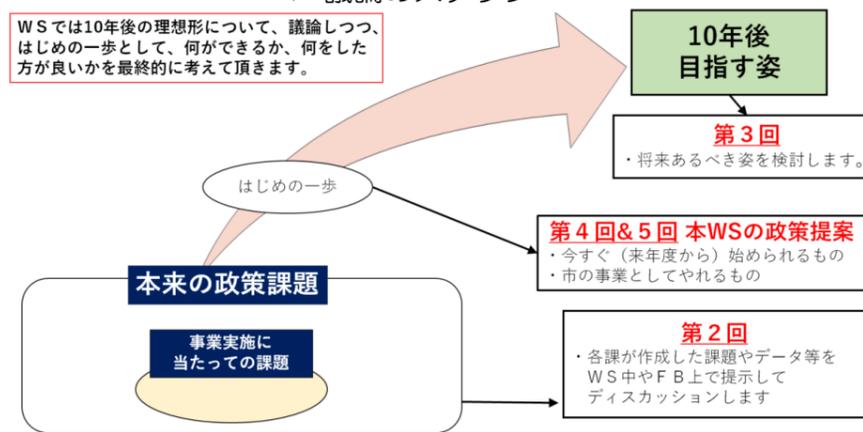
02 (市民文化スポーツ局スポーツ振興課)
ギラヴァンツで北九州をシゲキしたい！
ギラヴァンツ北九州がもっと市民に愛される仕掛けと、スポーツツーリズムによる地元経済の活性化を実現していくプロジェクトです。
コーディネーター 吉永 隆之

03 (市民文化スポーツ局地域振興課)
好きや関心を活かし、自分らしく地域に関わっていくには？
地域に関わるってどういうことだろう。自治会や町内会ってなんだろう。自分の好きや関心からはじめる地域への関わり方を考えて、カタチにしてみましょう！
コーディネーター 藤本 遼

04 (公営競技局ポートレース事業課/競輪事業課)
ポートレース・競輪の魅力を見つけ、磨いて、伝えよう！
ポートレース・競輪を題材に、公営競技のイメージ戦略、ブランディングについて共に学び、北九州市と実践する場です。広報やブランディングに興味のある方はぜひ！
コーディネーター 高津 祐次

議論のステップは、下図のようになっており、少しずつステップを踏んで市への提案資料をまとめていきました。

▼ 議論のステップ



03 全体発表会

テーマ関係者の皆さんや、北九州市長なども参加しながら、若者からの提案として発表とディスカッションを行いました。具体的な取組に直結しそうな提案が数多くありました。

	タイトル	提案内容（抜粋）
1	Meet again Kitakyushu ～見つけてみらん？北九の魅力 with 若者～	・インターンシップ×シェアハウス×若者 ・空き家活用の「目的」設定 ・若者主体の魅力発信 ほか
2	浜風を追い風に地域が一体となって輝き、元気になるために	・北九州市立大学 421Lab.との連携&プロジェクト立ち上げ ・小倉駅北口エリアをギラヴァンツカラーへ
3	あわいのひとPJ ～人を繋ごう、未来へ繋ごう、誰一人取り残さない地域へ～	・新たな団体「地域コミュニティ（自治会）×若者」の創設 ・「なんする？！自治会長人生ゲーム」制作&ワークショップ開催
4	WEB大改造実施計画 ～漕ぎ出せ全世代から愛されるために～	・ポートレース若松のホームページの見直し ・SNSを活用して更なる情報発信

▼ 発表資料（抜粋）



▼ 発表会の様子



04 振り返り・感想

最後に、この取り組みを通じての参加者や担当職員の振り返り・感想をまとめています（抜粋）。

参加者（若者）から

- ・半年間北九州のことについて考えて発表できてよかった。実際にオフラインで会いたかったので、必ず機会を設けてほしい。
- ・北九州は引っ越してきてから魅力を知ったが、人を魅了できるようなポイントが多くあると感じる。
- ・誰が住んでいるかもわからない地域に、人同士のつながりがあれば町がもっと温かくなると実感できた。
- ・イメージが全くなく、初めてポートレース場に行ったが、イメージが湧くようになったし、SNS も見るようになった。

担当職員から

- ・若い人たちの感じている思いと、市の思いが一緒であることが確認できたのが良かった。
- ・北九州に関わりたい、なにかしたいという潜在層は多いのではないかと感じた。
- ・事業の立て付けが市の課題について「アイデアをもらおう」だったが、参加者が主体的に動きを起こしていけるようにしていきたい。一緒にやっていきたい。
- ・今後も1年程度、継続的に参加頂いた方に意見を聞く場を設けたい。

